



## 2020年度千葉医療構想フォーラムの開催延期と2021年度での開催予定について

吉村健佑・森田美紀

2019年8月に千葉大学医学部附属病院 次世代医療構想センター 活動報告会  
**2021年度 千葉医療構想フォーラム**  
 LIVE同時配信  
 2019年8月に千葉大学医学部附属病院は千葉県からの特別研究部門として、次世代医療構想センターを開設しました。当センターでは、2025年以降の地域医療ニーズを見直し、大学病院 地域の医療機関（主として）を2層が中心となって、持続可能な質の高い医療の実現に向けて研究開発を行い、定評した地域の医療提供体制の確立を目指しています。その活動状況を踏まえ、千葉の医療について意見交換の場として開催致します。

**次世代のための地域医療構想**  
 ~ビジョンとデータで実現する~  
 2021年7月24日(土)  
 申込みが切 2021年7月20日(火)  
 受付開始 13:00~  
 開催時間 13:30~16:00  
 千葉大学医学部附属病院3階 ガーネットホール  
 ※参加費無料  
<https://forms.gle/kGhwEXYfGdLBDZr8>

このQRコードもしくはお申し込みよりお申込みください

**活動報告 (南島)**  
 登壇者: 南島 隆雄 (2019-2020年度特別研究員) センター長  
 佐藤 大介 (特別研究員) 地域医療構想センター 地域医療構想センター 地域医療構想センター 地域医療構想センター 地域医療構想センター 地域医療構想センター

**特別講演**  
 佐藤 隆 厚生労働省医政局地域医療課長 特別講演「新型コロナウイルス感染症を踏まえた今後の医療提供体制について」  
 佐藤 隆 厚生労働省医政局地域医療課長 特別講演「地域医療構想の推進を加速する三つの要素と二つの結果」  
 小林 大介 神戸大学大学院 地域医療研究センター 特別講演「地域医療構想に関する兵庫県の取り組みについて」

**パネルディスカッション**  
 「新型コロナウイルス感染症を踏まえた今後の地域医療構想について」  
 座長: 山本 修一 独立行政法人 地域医療推進機構 理事  
 登壇者: 佐藤 隆 厚生労働省医政局地域医療課長 特別講演 理事  
 井上 新 千葉県健康福祉部 地域医療推進課 課長  
 金江 博 千葉県医師会 会長  
 竹内 公一 千葉大学医学部附属病院 地域医療推進課 課長  
 森田 美紀 千葉大学医学部附属病院 次世代医療構想センター 特任助教

問い合わせ 千葉大学医学部附属病院 次世代医療構想センター 事務局  
 E-mail: bpr-jed@chiba-u.jp TEL: 043-226-2762 (内線 6480)

**プログラム (敬称略)**

13:30 開会の言葉 中山 俊昭 千葉大学長

実演挨拶 渡辺 真規 千葉県健康福祉部保健医療推進部長  
 松野 久昭 千葉大学大学院医学研究科長  
 橋手 幸太郎 千葉大学医学部附属病院長

13:45 【第1部 活動報告】  
 1. 2019-2020年度の活動全体像: センター全体と次世代医療構想部門の取組み  
 西村 健佑 千葉大学医学部附属病院 次世代医療構想センター長  
 2. 政策情報分析部門の取組み: データの収集と分析の状況  
 佐藤 大介 千葉大学医学部附属病院 次世代医療構想センター 政策情報分析部門長

休 憩

14:20 【第2部 講演】  
 1. 特別講演 「新型コロナウイルス感染症を踏まえた今後の医療提供体制について」  
 佐藤 隆 厚生労働省医政局地域医療課長 特別講演  
 2. 特別講演 「地域医療構想の推進を加速する三つの要素と二つの結果」  
 松本 隆樹 群馬県福祉保健部長  
 3. 招待講演 「地域医療構想に関する兵庫県の取り組みについて」  
 小林 大介 神戸大学大学院医学研究科 特別講演

休 憩

15:15 【第3部 パネルディスカッション】  
 「新型コロナウイルス感染症を踏まえた今後の地域医療構想について」  
 座長: 山本 修一 独立行政法人 地域医療推進機構 理事  
 千葉大学医学部附属病院 特任教授  
 厚生労働省医政局地域医療課長 特別講演  
 登壇者: 佐藤 隆 厚生労働省医政局地域医療課長 特別講演 理事  
 井上 新 千葉県健康福祉部 地域医療推進課 課長  
 金江 博 千葉県医師会 会長  
 竹内 公一 千葉大学医学部附属病院 地域医療推進課 課長  
 西村 健佑 千葉大学医学部附属病院 次世代医療構想センター長

開会の言葉 中山 俊昭 千葉大学理事  
 総合司会: 渡辺 浩史 千葉大学医学部附属病院 次世代医療構想センター 特任助教

LIVE同時配信 並行的に配信された方に限り、毎日オンデマンド配信いたします

当センターは成果発表を行う場として、「2020年度次世代医療構想フォーラム」を計画し、2021年2月6日に開催を予定していた。

テーマは「次世代のための地域医療構想～ビジョンとデータで実現する～」とし、厚生労働省や新潟県庁からのゲストに登壇頂き、国や他県の先行事例を見ながら、千葉県の進むべき方向について検討・議論を行うことを企画していた。そして、千葉県内外より225名の事前申込みを得ており、盛会が期待された。申込者の背景は表のとおりであるが、背景として医師の申し込みが多く、次いで一般企業からの申し込みが多かった。当センターの活動が幅広い層からの関心を得ていることわかる。

しかし新型コロナウイルス感染症の感染拡大（いわゆる第3波）がみられ、千葉県を含む首都圏に緊急事態宣言が発出され、社会活動の自粛が求められた。当センターは千葉県と強く連動した研究活動を実施しており、何より医療機関としての大学病院の役割を考えると予定した通りの開催は適切ではないと考えた。また完全オンラインでの開催も検討したが、登壇者の多くが新型コロナウイルス感染症に対応している医療機関に所属し、各行政機関での責任者相当の立場であることなども考え、総合判断により残念ながら延期とした。

あくまで延期であり、2021年度に開催することとし

た。諸々の調整により、2021年7月24日（土）13：30～16：00に「2021年度次世代医療構想フォーラム」としてほぼ同一の内容にて開催予定である。厚生労働省はコロナ収束後の状況を踏まえた医療提供体制について議論を再開しており、多くの有用な資料がだされつつある。2021年度のフォーラムではその点を踏まえた議論が期待される。

最後に、当センターが千葉県健康福祉部からの寄附を得て運営されるのは、2021年度が最後であるゆえ、2021年12月頃に最終年度としての報告会を開催予定である。これまでの研究成果を具体的に提示し、千葉大学病院が引き続き千葉県の医療に対して貢献できる方策を提案したい。

### 2020年度 申込者数内訳

医師	70名
看護師	15名
看護師以外のコメディカル	20名
大学教職員	6名
行政職員	11名
大学以外の研究職	14名
学生	22名
メディア関係	1名
一般企業	48名
その他	18名
合計	225名